

平成30年度海老名市予算の概要

～さらなる躍進 未来に向けて～

予算規模

() 内は対前年度比

◆**予算総額** 693億4,300万円 (8億7,900万円、1.3%増)

◆**一般会計** 421億 500万円 (17億3,400万円、4.3%増)

◆**特別会計** 218億9,100万円 (△13億9,400万円、6.0%減)

- ・国民健康保険事業特別会計 125億3,800万円 (△21億5,300万円、14.7%減)
- ・介護保険事業特別会計 77億5,300万円 (7億3,400万円、10.5%増)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 15億9,900万円 (2,500万円、1.6%増)

◆**企業会計** 53億4,700万円 (5億3,900万円、11.2%増)

- ・公共下水道事業会計 53億4,700万円 (5億3,900万円、11.2%増)

予算規模は、一般会計、予算総額ともに過去最大となりました。

歳入(一般会計)

() 内は対前年度比

○**市税** 232億4,600万円 (6億5,700万円、2.9%増) ※過去最大

- ・個人市民税 87億2,700万円 (3,600万円、0.4%増)
- ・法人市民税 17億1,100万円 (2億1,800万円、14.6%増)
- ・固定資産税 104億2,800万円 (3億6,900万円、3.7%増) ※過去最大

○**地方譲与税及び各種交付金** 29億9,100万円 (9,200万円、3.2%増)

○**基金繰入金** 6億7,700万円 (1億3,700万円、25.6%増)

○**市債** 25億1,200万円 (2億8,600万円、10.2%減)

歳出(一般会計)

() 内は対前年度比

○**義務的経費** 209億200万円 (7億4,800万円、3.7%増)

- ・人件費： 72億1,300万円 (4,800万円、0.7%増)
- ・扶助費： 106億9,500万円 (5億3,000万円、5.2%増)
- ・公債費： 29億9,500万円 (1億6,900万円、6.0%増)

○**普通建設事業費** 54億1,000万円 (3億8,300万円、7.6%増)

主要事業の概要

まちの変化が日々見て取れる海老名市。この変化に対応するとともに、新たなまちづくりをさらに推進するべく、平成30年度予算は、「さらなる躍進 未来に向けて」として編成いたしました。

切れ目のない子育て支援のまちづくり

えびなこどもセンターの開設〈新規〉

保健福祉部の子ども所管部署と教育委員会を保健相談センターに集約し、出産、子育て、学校教育を通じた長期的な視点による一元的な子ども支援体制を構築します。

南部子育て支援センターの開設〈新規〉

市内2か所目となる、地域で身近な子育て支援機能を備えた子育て支援センターを開所します。

子ども医療費助成事業の継続 5億2,500万円

所得制限を設けずに0歳から中学3年生までの入院・通院費用を補助し、子育て世代の経済的負担を軽減します。

民間保育所に対する財政支援 4億100万円

待機児童解消に努めるとともに多様化する保育ニーズに答えるため、財政支援の充実を図ります。



誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

障害者支援センターあきばの開設〈新規〉

北部地域の障がい福祉サービスの拠点として、障がい者の地域生活を支援します。

障がい者の就労支援及び福祉施設製品の共同受注化の推進 1,200万円

障がい者の就労と経済的自立を支援します。

口腔機能の低下を防ぐオーラルフレイル普及・啓発事業の促進 1,300万円〈新規〉

口腔ケアにより、心身の衰えの進行を遅らせ、健康寿命延伸事業としての効果検証を実施します。

基幹型地域包括支援センターの開設（特別会計）

市内6か所にある地域包括支援センターを総括・総合調整します。



安全・安心なまちづくり

市内防犯カメラのネットワーク化 2,100万円〈新規〉

市内90か所の防犯カメラをクラウドサービスによりネットワーク化することで犯罪抑止を図ります。

海老名駅西口安全安心ステーションの開設 400万円〈新規〉

民間開発が進む海老名駅西口地区に安全・安心ステーションを開所します。

災害時情報収集活動用ドローン（小型無人型飛行機）を配備 900万円〈新規〉

火災、倒壊家屋、公共施設、駅滞留者、道路、橋りょう等の災害時における様々な場面での上空・低空映像による効果的な情報収集が可能となります。



危機対処型起震車の導入 5,200万円〈新規〉

平常時に地震の揺れを疑似体験でき、かつ、災害時における現場への緊急走行、広報活動及び現地災害対策本部設置・運営機能を装備した全国初の危機対処型起震車を導入します。

（仮称）消防署西分署の整備（平成29年度補正予算 1億3,700万円）

海老名駅西口地区や駅間開発による商業・住宅建設の増加に伴い、（仮称）消防署西分署を整備し、上郷・下今泉地区等の消防力の強化を図ります。



便利で快適なまちづくり

並木橋歩道橋架設事業の推進（5か年継続事業） 13億5,000万円（総額） 〈新規〉

歩車を分離し歩行者の安全確保と交通渋滞の緩和に努めます。

（仮称）上郷河原口線ほか西口地区道路整備の推進 8億3,500万円

海老名駅西口地区における道路交通の円滑化と利便性の向上に努めます。

相鉄線海老名駅の駅舎の建て替え 2億5,000万円

連絡通路及び駅施設の改善による駅利用者等の混雑緩和、生活支援機能の設置などの駅総合改善事業を実施し、駅施設利用者の安全性及び利便性の向上を図ります。

海老名駅北口駅前広場の整備促進 1,200万円

海老名駅北口改札設置に伴い、北口駅前広場の整備を推進します。



未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくり

全小学校へのタブレット端末の導入 2,300万円 〈新規〉

子どもたちがICT機器を活用しながら情報の収集・伝達・共有を行うという21世紀にふさわしい授業形態を確立させ、未来を生き抜く力を育成します。〔小学校13校に各45台〕

中学校に整形外科医・トレーナーを派遣 40万円 〈新規〉

整形外科医師やトレーナーが中学校を巡回し、生徒のオーバーユースによる怪我や故障を防止します。

小中学校の彫刻刀・柔道着の無償貸与（平成29年度補正予算 100万円）

使用頻度の低い、彫刻刀と柔道着について学校管理物品として備え、貸与することで、保護者負担の軽減を図ります。



小学校周辺通学路のカラー舗装化 1,000万円

児童の歩行空間の確保と通過車両の速度抑制を促し、通学路の安全対策を図るため、小学校の半径500m以内の歩道が設置されていない通学路を対象に、路側帯のカラー舗装化を図ります。

にぎわいと活力のある産業を生むまちづくり

厚木駅周辺市街地再開発 3,200万円

事業者と連携し、権利者の合意形成や関係機関協議等を進めるとともに、再開発事業の推進に向けて、組合に必要な指導、助成等の支援を行います。

海老名運動公園周辺地区に工業系市街地を創出 3億3,000万円

地区の優位性を活かし、良好な市街地形成と適正な産業立地を誘導するため、組合施行の土地区画整理事業を推進します。

さがみ野駅前における基本構想の策定 300万円

都市施設のあり方について、地権者等の意向や周辺自治体との協議を進め、整備手法を含めた基本構想をまとめます。

えびなの名店・名産品の事業者に対しPRや販売の支援制度を創設 900万円 〈新規〉

海老名市のにぎわいを創出し、市内全体の経済活性化を図るため、各開発委員会に対する支援事業やキャッチコピー、名店・名産品等のPR事業を実施します。

農業法人設立の研究 〈新規〉

海老名市農業の将来にわたる持続的な発展・振興を図るため、市域を包括する農業法人の設立について研究します。



未来につなげる都市経営

若者（学生）定住促進家賃補助事業の継続 400万円

転入及び定住を促進するため、市外から転入する学生に対して家賃を補助します。

若者定住促進奨学金返還補助事業の継続 2,000万円

転出を抑制し転入を促進するため、奨学金を返還する30歳未満の若者に対し補助金を交付します。

市の魅力を市内外にPRするシティプロモーションを強化 1,100万円

鉄道やバスへの広告掲載をはじめ、様々な媒体を活用し、市の魅力を発信します。

近隣市、姉妹都市等との全方位的な広域連携の研究

将来の人口減少を見据え、共通する行政課題の解決に向けて、広域的な観点からの研究・検討を行います。



市債及び基金残高の状況

○平成30年度の市債残高は412億6,900万円（前年度比2億7,300万円の減）、基金残高は67億2,000万円（前年度比2億5,900万円の増）となる見込みです。

（単位：千円）

区分	平成28年度末	平成29年度末	増減額	平成30年度末	増減額
市債残高	40,404,111	41,542,163	1,138,052	41,269,057	△273,106
一般会計	27,027,556	28,142,045	1,114,489	27,920,122	△221,923
企業会計	13,376,555	13,400,118	23,563	13,348,935	△51,183
基金残高	6,110,302	6,460,675	350,373	6,720,016	259,341
財政調整基金	2,618,524	2,621,027	2,503	2,623,641	2,614
新まちづくり基金	1,481,385	1,617,342	135,957	1,597,600	△19,742
公共施設等あんしん基金	1,554,775	1,697,586	142,811	2,009,281	311,695
その他基金	455,618	524,720	69,102	489,494	△35,226

注：特別会計で管理する基金は除いています。

お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課
電話 046-235-8453（直通）
FAX 046-233-9118
E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp